

芋川砂防 フィールドミュージアム かわら版 第4号

新潟県中越地震により大規模土砂災害が発生した芋川流域での経験を将来につなぐ活動に関わる情報を発信しています。

「芋川砂防フィールドミュージアム」今年度の取り組みについて

◆改めて、「芋川砂防フィールドミュージアム」とは？

新潟県中越地震で河道閉塞などの大きな災害を経験した芋川流域には様々な砂防施設があります。それを「砂防の野外博物館」として、記憶継承・地域振興・防災力向上を図ろうという取り組みが「芋川砂防フィールドミュージアム」です。

◆取り組み状況

砂防施設を防災学習や観光資源として活用するための整備や活動について検討するため、行政・地域・（財）山の暮らし再生機構などの復興支援組織が連携する実行委員会が立ち上がってから、今年で3年目になります。

整備については山古志平野はじめ砂防施設周辺がどのようになっていくことが地域にとって望ましいのか、**活動**については震災を通して見えてきた、崩れやすい地盤や上流下流のつながり、土砂災害や砂防について知ってもらうガイド活動のしくみなどを検討しています。

昨年度に開催が決まっていた“砂防ガイド講習会”の準備等を行う第1回作業部会から今年度の活動がスタートし、9月には現地を含む砂防ガイド講習会を開きました。

◆今年の活動

震災の日を挟む約2ヶ月、山古志住民会議が開いている「つなごう山古志の心展」で、今年は芋川砂防フィールドミュージアムとしての情報発信の試行出版を行っています。

今後は第2回作業部会と実行委員会を開いて、整備や活動についての実施計画をまとめ、具体化につなぎます。

砂防ガイド講習会の報告を2～3ページに掲載しました！



第1回作業部会開催状況（8月7日）

ガイド講習会実施計画のほか、今年度の取り組みについて話し合いました。

★ポケットサイズの芋川砂防フィールドミュージアム案内マップを作成しました。

芋川流域の砂防施設や見所などの位置図、見学コース案内などを載せました。

山古志支所・山古志会館・山古志観光協会・長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」に置いてあります。

どうぞご利用ください。



今年度の取り組みから

◆砂防ガイド講習会

9月5日、山古志周辺のガイド活動関係者、山古志地域と魚沼市竜光地区の区長・自主防災会関係者等を対象に室内講習と現地研修による講習会を開き、33名の方に参加いただきました。

○室内講習

地震のメカニズムや土砂災害の種類、砂防対策、さまざまな工法などについて、映像、写真、作業部会で作成中のガイドブックを使って説明し、参加者からの質問にお答えしました。

○現地研修

山古志支所を2台のバスで出発し、東川ブロックえん堤、寺野地すべり跡地・南平地区（セル式えん堤・“天空の郷”法面対策）、東竹沢地すべり跡地・竜光遊砂地・下之沢地区（地すべり対策）で下車。ガイドブックを使った説明・クイズ・質問対応をしながら回りました。

○講習会を終えて—観光ガイドさんにインタビュー

勉強になりました。砂防工事を計画されてきれいになってきたのを見たことも良かったし、これからもっと良くなるように、この地域が安全になればと思っています。（星野吟二さん）



室内講習のようす



寺野地すべりの現地研修のようす

現地を見ながらでクイズも行いました！

どの問題も参加者の8割ぐらいの皆さんが正解しました。答は4ページ下をご覧ください。

クイズ1 東川砂防えん堤

使われたブロックは何個？

- ①300個
- ②3,000個
- ③30,000個



クイズ2 南平砂防えん堤

円筒1つの中の土砂の量は？

- ①ドラム缶20杯
- ②ダンプカー20杯
- ③小学校のプール20杯



クイズ3 東竹沢地すべり

地震で動いた土砂の量は？

- ①東京ドーム1杯以上
- ②東京ドーム半分
- ③新潟県庁ビル1杯分



砂防施設のはてな？ その1 「集水井」について

Q：集水井（しゅうすいせい）って何？

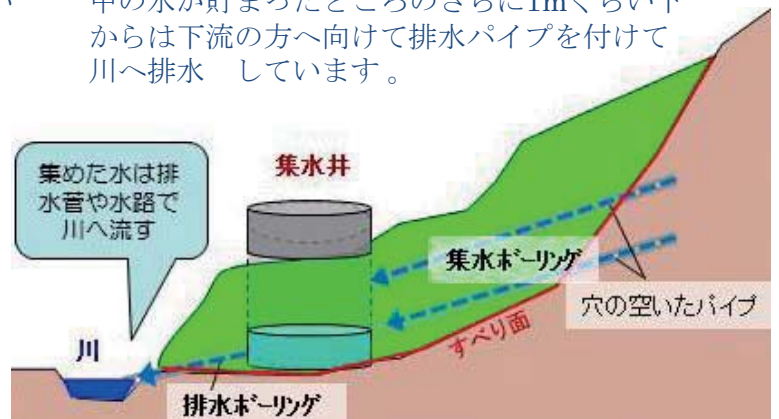
A：地すべりは地下水が悪さをするので、その水を抜く施設です。下之沢地区（梶金）では、生活水などの地下水取水に影響が出ないように、国道より低い場所2箇所集水井を設けています。



下之沢地区では集水井の中も覗きました。

Q：中はどうなっているの？

A：集水井の円筒の中に上流方向横向きに、ボーリングをして水を抜いています。中の水が貯まったところのさらに1mぐらい下からは下流の方へ向けて排水パイプを付けて川へ排水 しています。



砂防ガイド講習会アンケート結果

参加者のうち、28名の方がアンケートにご協力下さいました。ありがとうございました。

●室内講習で興味深かった内容は？

- ・多種の技術が駆使されている。
- ・山奥から修復している事で、下流の方が安全となることが良くわかりました。
- ・山に住む私達にとって、砂防の重要性等も感じたり考えるよい研修となりました。

●現地研修で興味深かった場所や内容は？

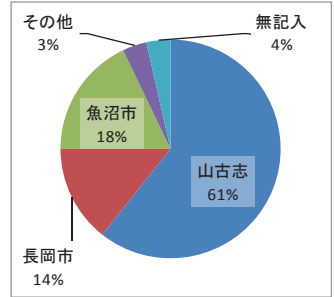
- ・セルの砂防工法でした。とてもよくわかりました。
- ・今尚、工事が続いているのに驚いた。

●参加後の意識の変化や感想は？

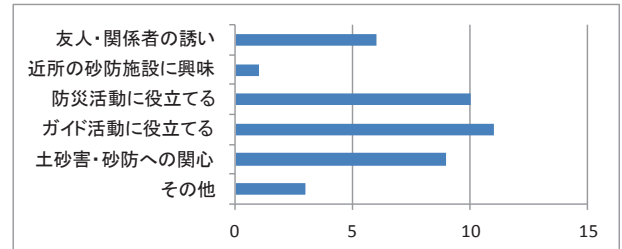
- ・正しい情報が伝えられると思います。参加して良かったです。
- ・私達で出来るボランティアをしてゆきます。
- ・新しい知識を伝えて行きたい。
- ・今回のような見学会は子供達にもぜひ。
- ・ところどころにカンバンがあるといいなと思いました。
- ・地震災害の現状を我々ガイドにしっかりと語り継いでゆくには、砂防の新しい情報も交えた定期的な砂防ガイド研修を行って頂きたい。

いただいた質問・ご意見等は今後の作業部会などで検討し、ガイドブックの充実を図るとともに現地の整備にも活かして行きます。

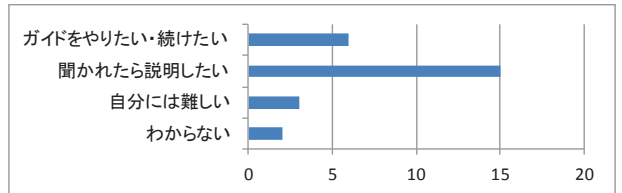
参加者の住所



応募の動機



参加後の意識変化



南平地区での現地研修のようす

砂防施設のはてな？ その2 「遊砂地」について

Q：遊砂地（ゆうさち）って何？

A：ふだんはまわりの水路部分を水が流れ、水位が上がると水が乗り越えて広い部分へ入ります。流速を落として土砂を堆積させる施設です。

下流の竜光地区を守り、魚野川に大量の土砂が流れ込むのを防ぐためにつくられました。上流の工事が進んだので、もう危険性は少なくなっていますが、何かあるときに機能します。

Q：実際に洪水の土砂が入ったことがあるの？

A：現在、角の部分に土砂が貯まっていますが、昨年7月30日の福島・新潟豪雨の出水で、少し土砂がオーバーフローして貯まったものです。大事には至りませんでした。



竜光遊砂地での現地研修のようす

「つなごう山古志の心展」に出展しました

震災から8年となった今年、「山古志の心展」主催の山古志住民会議から、復旧復興のために行われた砂防事業を紹介したいというお話をいただき、展示を行いました。

大勢のお客様にパネル展示や3D映像「新潟県中越地震大地と人のドキュメント」などをご覧いただくことができました。

●会場でインタビューさせていただきました。

- ・家族（子供・おばあちゃん）にアルパカを見せようと、加茂市から来ました。山古志で地すべりが多いことを知りました。（女性）
- ・是非とも残ったもの（砂防施設等）を活用して今後の防災に役立ててもらいたいと思います。（男性）
- ・長岡市に住んでいます。下流にも影響があると思うと、上流の砂防工事は必要だと思います。（男性）

来場者の様子(11月3日撮影)



3D映像は一番の人気でした。

芋川写真地図や立体地図は熱心に見入っている方がありました。



子供達は土石流ミニ模型で何度も実験をしていました。

事務局（湯沢砂防事務所）から



今年4月に着任しました事務所長綱川でございます。いろいろなところを回って来ましたが、これだけいろいろな砂防施設が集積しているところは無いと思っております。

8月に、当地でキャンプ砂防というのを実施し3.11災害を経験した岩手大学などの学生さん達が参加されました。



体験：養鯉 養鯉池にて

彼らは復興のためにどういった砂防の施設が効果があったのか？ どういう復興をされているのか？ 地元の方がどういうことを思っておられるのか？ というのを勉強したいとのことでした。

それは、復興をされてきた実績をここの皆さんが知っているからだと思えます。

湯沢砂防事務所は、地域を安全にしてゆく事業を実施していることから実行委員会事務局を努めています。

身近にある砂防施設、地すべり施設について、地元の方々によく知って頂きたい。しかし3.11災害でおわかりのように、防災施設には限界があり、絶対に大丈夫というものはないということも含めて、ご理解頂きながら、施設を復興交流や地域活性化の一つの要素にしていだければと思っております。

(9/5砂防ガイド講習会挨拶より)

◆ご不明な点がございましたらお気軽にお問合せください◆



★事務局は湯沢砂防事務所が担当しています。
国土交通省 北陸地方整備局 湯沢砂防事務所
〒949-6102 南魚沼郡湯沢町大字神立23
湯沢砂防事務所 流域対策課 Tel：025-784-2926
破間川出張所 Tel：025-792-1105

2 ページ
クイズの正解
1-②
2-③
3-①